

派遣留学生帰国報告書

* 帰国(復学)後の情報を入力してください

記入日	2018/9/13
所属学部	融合理工学府
所属学科・専攻	創成工学専攻・デザインコース

1. 留学先について

留学先大学名	ミラノ工科大学											
留学先所属学部等	デザイン&エンジニアリング インタラクションコース											
留学期間	出発日	2017/8/20	入学日	2017/9/11	修了日	2018/7/2	帰国日	2018/7/5				
住居	大学(紹介)の寮・アパート	<input type="radio"/>	民間アパート	<input type="radio"/>	その他()							
	通学時間	15分				On campus						
	通学方法	電車・徒歩										
	居室スペース	<input type="radio"/>	個室	()	人部屋	その他()						
	共有スペース	<input type="radio"/>	完全個室	<input type="radio"/>	キッチン	<input type="radio"/>	トイレ	<input type="radio"/>	バス	<input type="radio"/>	リビング	<input type="radio"/>
食事	自炊	60 %	学食	0 %	外食	40 %	その他	() %				
保険	海外旅行保険(名称)	ゼネラル保険										
	派遣先大学指定の保険(名称)							<input type="checkbox"/> 強制加入				
	その他											
渡航ルート	ex.) 成田⇄シカゴ(飛行機)⇄ウィスコンシン(電車)											
	成田	⇄	ミラノ(飛行機)	⇄	ボヴィザ(電車)							

2. 留学にかかった費用について

総費用	190万 円							
出どころ								
自費	貯金	円	<input type="radio"/>	アルバイト	30万 円	その他	円	
援助	<input type="radio"/>	両親	円	<input type="radio"/>	家族・親戚	円	その他	円
奨学金	<input type="radio"/>	JASSO	80万 円	<input type="radio"/>	その他名称(第二種奨学金)	110万 円		
その他	<input type="radio"/>	千葉大学助成金	円	<input type="radio"/>	その他()	円		

2-1. 財政管理の方法

渡航時	<input type="radio"/>	現金	30万 円		その他()	円
留学中		海外送金	キャッシング	<input type="radio"/>	その他(VISAデビットカード)	

2-2. 各費用の支払い方法

大学に払った費用	なし
住居にかかった費用	毎月、家賃を現金で手渡し
その他	

2-3. 内訳

費目	外貨金額		円貨金額	
	通貨単位			
渡航費(往復)			200,000	円
海外旅行保険			200,000	円
OSSMA			20,000	円
査証・在留許可証	ユーロ	130	17,550	円
住居	ユーロ	5,750	776,250	円
食費	ユーロ	4,000	540,000	円
通学に要する交通費	ユーロ	200	27,000	円
教科書、教材費				円
その他大学に支払った経費				円
光熱費				円
その他 (旅行)	ユーロ	883	119,200	円
その他 ()				円
その他 ()				円
その他 ()				円

3. 学業面

履修科目名	種類 ^{ex.正規、聴講}	単位数	単位互換認定申請の有無			
			<input type="radio"/>	有	<input type="radio"/>	無
1 PRODUCT DEVELOPMENT DESIGN STUDIO 1	正規	12	<input type="radio"/>	有	<input type="radio"/>	無
2 PRODUCT DEVELOPMENT DESIGN STUDIO 2	正規	12	<input type="radio"/>	有	<input type="radio"/>	無
3 USER AND SOCIAL INNOVATION	正規	6	<input type="radio"/>	有	<input type="radio"/>	無
4 LEADERSHIP & INNOVATION	聴講	0	<input type="radio"/>	有	<input type="radio"/>	無
5			<input type="radio"/>	有	<input type="radio"/>	無
6			<input type="radio"/>	有	<input type="radio"/>	無
7			<input type="radio"/>	有	<input type="radio"/>	無
8			<input type="radio"/>	有	<input type="radio"/>	無
9			<input type="radio"/>	有	<input type="radio"/>	無
10			<input type="radio"/>	有	<input type="radio"/>	無

3-1. 授業科目の選択、登録方法

ミラノ工科大学では、授業が始まる前に授業を登録する必要がある。授業が開始される前に、ミラノ工科大学から自分が選択できる授業のリストがメールで送られてくるので、そのリストから自分が選択したい授業を選択してメールに返信することで登録することができる。

3-2. 授業内容、方法に関して

ミラノ工科大学は工科大学なのでエンジニア系の授業が多い。工学系のデザイン分野や建築の分野で有名な大学だが、ファッションやサービスデザインの授業もあり、留学生は選択できる授業の幅が広いので自分が履修したい授業を探せば見つけることができる。個人ワークよりグループワークが多く、テストもペーパーテストだけでなく口頭試験などもある。

3-3. 語学力について

大学院の授業はほぼ全て英語で行われるが、学部の授業はイタリア語で行われる授業が結構ある。学部で留学する際は、イタリア語を理解できた方が選択できる授業の幅がぐっと広がる。院の授業は英語だが、グループワークなどになるとイタリア人がやはり多いため、イタリア語が話せた方がスムーズに会議が進む。しかし、英語だけでもちゃんと話せばあまり問題はない。留学に行った際に積極的に外国人と話せば自ずと英語力はついてくる。

3-4. 図書館など学内施設について

充電できるコンセントが学内に多く設置してあるので、あまりコンセント探しに困らない。ミラノには大きく分けて3つのキャンパスがあり、すべてに大きな図書館が付属してあるので学習環境はとて素晴らしい。しかし、試験前となるとその大きな図書館が学生で埋め尽くされる。また、学内にカフェがあるので、ミーティングや授業の息抜きとして友達と訪れたりすることができる。

3-5. その他

4. 生活面

4-1. 住居について

ミラノは家賃が高い。私はシェアアパートに住んでいたが、家賃が日本の約2倍した。ミラノ内で個人アパートを探すとなるととても大変であまり見つけることができない。また、ミラノはスリがよく起こっていて、場所によってはスリが多発している地域などがあるので、宿を探すときは安全な場所を探して予約した方がいい。一般的にはミラノ中心部に近い方が安全と言われているが、ミラノ中央駅付近は夜になると危険。

4-2. 食生活について

外食は少し日本より高くなる。日本では飲み放題があるが、ミラノでは飲み物一杯と食べ放題を約千円で注文することができる。日本食や日本食を作るための材料費などはやはり高めにつく。しかし、果物や野菜は日本より安く、週末になると道端で野菜や果物、魚や肉などが安く売られる。外食は、ピザやパスタ、パニーニがほとんどであまりバラエティが存在しないので味に飽きてくる。

4-3. インターネット環境、携帯電話について

日本よりはWifi環境がとてもよく、結構どこでもWifiが飛んでいる。私は日本で携帯をSIMフリーにして、イタリアでイタリアの携帯会社のSIMを購入し使用していた。月額2000円行かないくらいなので、携帯代は安くつく。宿や大学にWifiが整備されているのであまり携帯の通信データは使用しなかった。

4-4. 服装について

日本と気候がほぼ変わらないので、日本と同じ格好で大丈夫。冬服は荷物になるので現地ですべて購入した。ミラノではセールをよくやっていて、50%、70%引きという店舗もよくあるので、タイミングが良ければすごく安く服を買うことができる。

4-5. 健康管理について

自分は体が丈夫なので、特別にしたことはあまりなかった。しかし、精神的にも厳しい状況になると思うので、無理はせずに少し体調が悪いなと思ったらミーティングや授業を1日ぐらい休むのは手。イタリア人はあまり病院に行かず、薬で全て治してしまう。なので、薬局がいたるところにある。あまり症状が重くなる前に治すのが1番安全。

4-6. 保険、OSSMAの利用について

ゼネラル保険というイタリアの保険やOSSMAに留学前に登録したが、自分は健康面や安全面で何もなかったため留学中は特に何もしていない。

4-7. 課外活動について

ESNというヨーロッパの留学生グループがウエルカムパーティやイベントをよく開いてくれた。留学初期の頃は自分もよくそう行ったイベントに参加して友達を作ったり、英語を積極的に話して英語の習得に励んでいた。大学の授業ではリサーチをする授業が多く、実際にユーザーやターゲットの現状を知るために大学外でインタビューを行ったりした。また、大学で会った友達とバスケットボールや卓球をプレーしたり、友達の学生寮に招待してもらったなどした。

4-8. 学外のコミュニティとの交流について

留学後半になって日本人と接するようになり、ミラノで社会人をしている日本人のコミュニティがあったのでそこに参加させてもらい、一緒にサッカーの日本戦を見たり、Jazzバーに行ったりして、イタリアで生活する良さを教えてもらった。

4-9. 日本から持参してよかったもの

ヒートテックとシルキードライ:夏用と冬用の下着。日本のものは高性能なので持っていくべき。
 日本の薬:海外の薬は強めのものが多いので。
 日本のお土産:海外の人は日本好きが多いので、持っていくととても喜ばれる。
 即席の日本食:日本食が恋しくなるので持っていくと安心する。

4-10. 日本から持参したが不要だったもの

冬服:現地で購入できるし、持っていくキャリーケースの中でシワシワになってしまった。
 ノート類:現地でいくらでも購入できるし、意外と重いので荷物になる。
 生活必需品:最初の一週間分は必要だが、それ以降は現地で購入できるので持って行きすぎるのは良くない。

4-11. 現地での対人関係について気づいたこと(習慣の違い、マナーなど)

イタリアでは、店員さんに自分から笑顔で挨拶することが必要。また、スリがやはり多発しているため、身の回りには気をつけて、貴重品などは前ポケットに入れて、近くに人がいるときは注意しながら行動する。マナーの違いはそこまでなかった。

4-12. 余暇の過ごし方

旅行

スイス・グリンデルワルド:2018年2月(三日間)、約5万円
 イギリス・ロンドン:2018年4月(五日間)、約8万円
 チェコ・プラハ:2018年5月(三日間)、約3万円

その他 * 気分転換やストレス発散法など。

友達とバスケット、サッカー、スカッシュ、卓球などしてストレス発散をしていた。友達と飲みに行ったり、ホームパーティーに参加するなどした。

5. その他

5-1. 留学先大学について

ミラノ工科大学は工科大学だけあってエンジニアの分野に強いです。私はエンジニア分野ではなく、アイデアの考え方(デザインドリブンイノベーション)を学びに行ったのですが、とても勉強になりました。ポリミの教授は優しい方が多く、質問などがあると毎回授業を止めてまで真摯に向き合ってくれます。設備も大きくしっかりしていて、実際に物を作ったり実験するには最適な場所だと思います。ポリミは留学生と在学を分けずに一緒に授業をするので、学習の観点からするととても良いのですが、その分、評価も厳しいので頑張らないと単位を簡単に落としてしまいます。

5-2. 留学希望者へのアドバイス

留学に行く前に、自分が何のために留学に行くのかを明確にしていた方が成長すると思います。留学するという決断をできるのはすごいことですが、目的が留学に行くことではなく、留学先で何をするかに変えないとせっかくのチャンスをうまく活かしきれなくなります。逆に、それさえしっかり心に持っておけば、留学は大成功すると思います。私は、留学を大成功で終わらせることができました。

5-3. 留学を終えて

留学を終えて、自分に自信ができました。自分が好きなこと、将来やりたいこと、自分の性格、自分が思うままに生きて良いんだなと感ずることができました。留学先では、周りに日本人がいないので、自ずと自分と向き合う時間が増えます。自分はどんな人生を今まで歩んできて、どんなことが好きで、将来どんな自分になりたいのか。就活の時期に行う自己分析に似ているのかもしれませんが、それが定まると自分に大きな自信ができました。留学前までは、周りの人の意見に流され、周囲の人を怒らせないため、不機嫌にしないために、周りの人が望むように生きてきました。でも、そんな人生を歩んでいても、薄っぺらいつまらない人間にしかならないと気がきました。自分はこれから進もうとしている道は、もしかしたら間違っているのかもしれない、周りの人が望んでいる道ではないのかもしれない、でも自分が望んでいるから進むという決断をすることができるようになりました。誰かの言う通りに生きて、その誰かが一生自分の面倒を見てくれるわけでもないし、自分の人生は自分で責任を取ると言うことをイタリア人から学びました。